

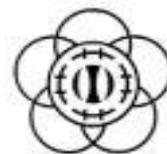
所沢市立小手指小学校 学校だより

大いちょう

令和3年3月1日 第14号
～元気なあいさつ 小手指小 自慢～

学校教育目標

学びあい
はげましあい
高めあい



3つの「あい」 校長 垣内 眞哉

6年生へありがとうの気持ち！



6年生を送る会を実施することができました。各学年の発表には、「ありがとうの感謝の気持ち」や「これから私たちが小手指小を引っ張ります」というメッセージが込められていました。

新型コロナ対策で一斉に集まる形はとれませんでした。心温まる会になりました。例年と異なる形式、コロナ対応で制約のある中、工夫を凝らした送る会となりました。そして、6年生は卒業が少しずつ近づいてきたと実感してきました。



日日是好日

「日日是好日」という茶道を題材にした小説があります。

世の中には「すぐに分かるもの」と「すぐには分からないもの」があって茶道は後者にあたると言われます。まず形から入り、繰り返し作法を行うことで少しずつ分かっていく。最初は「なぜそんなことを」と思っていたことが「なるほどそうか」と気づいていく。主人公は長い時間、茶道に向き合いまさに「今を味わう一瞬」に没頭できた瞬間に「日日是好日」の意味にようやくたどり着きました。

私たち教師は、子ども達に学びの意欲を持たせようと教育活動を行っています。日々の授業の中で子ども達にその学びの必要性をどれくらい感じさせられることが出来ているのかと立ち止まることがあります。子ども達のなかには「どうしてこの勉強を」と考える間もなく、授業を受けている子もいるかもしれません。しかし、その授業のどこかで時間を忘れ没頭して学びの楽しさを感じさせられたら、いつか「なるほどそうか」と学びの意義に気づいてくれる、そう信じて私たち教師は日々教育活動を進めています。

3学期も残り1ヶ月となりました。コロナ対応に配慮しつつ教育活動を行っています。全校一斉に集まるが出来ないもどかしさがあります。それでも学校は子ども達の成長する姿が実感でき幸せです。日日是好日と捉えます。



おめでとう！図工展覧会

個人情報保護の観点から、入選した児童の氏名の掲載は控えております。



5年生 芸術教室を行いました

文化庁芸術家派遣事業として狂言師による芸術教室を体育館でコロナ対策を講じて実施しました。狂言の歴史、お面や衣装を紹介して頂きました。国語の教材にある「柿山伏」を演じた後に5年生は立ち方や台詞の言い方、柿をもいで食べる仕草の体験を行いました。児童は「狂言は古風なコントみたいな感じで、演じる側も観る側も楽しく面白かった」と感想を書きました。



3年生 昔の道具体験をしました

県立「歴史と民族の博物館」の講師を招いて、社会科の昔の道具を使う授業を行いました。

洗う道具「せんたく板」、運ぶ道具「天びん棒」粉にする道具「石うす」を体験しました。現在は電気のスイッチひとつで簡単にできますが、昔の道具は、自然の材料で作られていて、人間の力で動かすことを実感しました。



お知らせ 卒業証書授与式について

3月25日に新型コロナウイルス対策を講じた卒業証書授与式を実施できるように準備を進めております。感染拡大対策として4,5年生の児童の参列はありません。政府の緊急事態宣言期間の終了、延長を踏まえた県、市教育委員会の方針に則り進めて参ります。変更の際にはメールでお知らせします。